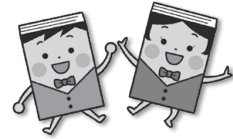


# 小学図書館ニュース



★定期刊行物は終わる期間を予定しない刊行物です。年度が変わりましても、購読中止のお申し出がない場合、引き続きご送付申し上げます。  
★著作権法により、本紙の無断複写・転載は禁じられています。

令和6年9月8日発行 第1335号付録

©少年写真新聞社 2024

## 「し・あ・わ・せ」を呼ぶ図書館マナー

神奈川県 横浜市立本牧南小学校 学校司書 青木美佳

学校図書館に来る子どもたちは、教室とは違う雰囲気、いつもわくわくしています。子どもたちにとって学校図書館は、本がいっぱいあって、学校司書がいて、授業に直結する学びや想像力のスイッチが入る瞬間を味わえる、大切な場となっていることでしょう。

だからこそ、教室とは違う空間の中で解放的になったり、はしゃいだりする子どもは多くいます。しかし、学校図書館にこそ、「社会」へ通じる多くの「学び」があることを、子どもたちに伝えていきます。

### 学校図書館での

#### 「し・あ・わ・せマナー」

本校ではオリエンテーションはもちろん、学校図書館だよりや掲示物などでも、ことあるごとに「し・あ・わ・せマナー」という言葉を伝えていきます。しあわせマナーの「し」は「しずかに」、「あ」は「あそびない」、「わ」は「わすれない」、「せ」は「整理整頓」の頭文字です。

図書館は、静かな雰囲気の中で本を読んだり、調べものをする場所だということ、を、「しあわせ」の「し」に重ねて最初に確認をします。そのうえで、遊ぶ場所ではないこ

とを、「あ」に重ねて伝えます。広い空間なので、つい鬼ごっこなどを始めてしまう子どもには、「それは外でやることだよな？」と伝えるところ、納得して外へ遊びに行きます。

次に、図書館の本はみんなの本だということを確認したうえで、自分が借りた本をいつまでも返さない、その本を読みたい人が困ってしまうことを、「わ」に重ねて「本を返す日を忘れないでね」と伝えていきます。さらに、本を読む前に手を清潔にしなければ、読み終わった本を元に戻さなかったり、自分が借りた本なのに友達に貸してしまったり、手続きをしないで本を図書館から外に持ち出してしまったりすることも、「やつては困ることを忘れないでね」と、いつも確認しています。

また、学校図書館はみんなが使う場所なので、本だけではなく、椅子を元に戻したり、ごみをきちんと捨てたりするなど、「せ」に重ねて「整理整頓することへの協力」も呼びかけていきます。

### 学校図書館のマナーは社会に通じる

学校図書館でのマナーを意識することは、学校の外でも役立つことを、子どもたちに伝えていきます。様々な

年齢の人が集まる公共図書館ではもちろんのこと、公共の場所でもきつと役立つことでしょう。

学校図書館でのマナーを行動に移せると、「だれもが安全に安心して生活できる」社会への一歩につながることを、マナーを指導する側も意識していきたいと思えます。

### 最後に

「なんで本を読むといいことがあるの?」「どうして本を読む必要があるの?」など、子どもたちは、よくこんな質問をしてくれます。そんな時は、「あなたは どう思いますか?」と聞き返してみます。すると、高学年からは、「自分たちの未来をよくするため?」「知らなかったことがわかるから?」「心が豊かになるから?」「相手の気持ちが想像できるから?」「相手の立場になって考えられるから?」などという言葉が返ってきます。どれも正解だと思えます。本を読むことで豊かになる自分たちの心と未来、そして公共性を学ぶことができる学校図書館の可能性は、とても大きいと思います。その活用は、教育課程の展開に寄与すると共に、子どもたちのより良い未来を創る一助になることでしょう。